

あまでつすです

今年も恒例のイベントでもある「コーヒーマロン」が、各務原キャンパスで開催された。今回は「ドリップの不思議」をテーマに、ドリップ・コーヒーマロンの世界を探索してみようという試みだ。毎朝レギュラーコーヒー（UCCリッチブレンド）をペーパードリップで淹れて、梅干しをカジリながら飲むのが習慣化している。以前は、夏バテ防止にと夏場だけ飲んでいたが、三年ほど前からオールシーズン強迫観念に駆られて

飲む様になった。モチベーションの問題もあるだろうが、梅珈琲を飲む様になつてからは、朝から躰がスツキリして、夏にバテる事が無くなつた様だ。と云う事は、矢張りそれなりの効果があるという事なのだろう。ドリップの抽出方法には、ペーパードリップ、ネルドリップ、サイホンなどがあり、裡でも一般的に多いのがペーパードリップである。そしてドリップには、カリタ式とメリタ式がある。その違いはドリップの底穴にある。三つ穴がカリタ、一つ穴がメリタで複数回お湯を注ぐか、一回でお湯を注ぐかの違いと云える。ちなみに自分はカリタのドリップで淹れている。昼餉のコーヒーマロンは、専らインスタントコーヒーマロン（UC117）を飲む。今の時期、香りの王様と云われるスパイス、カルダモン、コーヒーマロンを飲んでみる。パウダー状のカルダモンを少し入れる事で、味がスパイシーになり、正に初秋のコーヒーマロン感じがする。また珈琲に塩麹を入れると、苦味が抑えられてマイルドな味になる。だが、これは

リタで複数回お湯を注ぐか、一回でお湯を注ぐかの違いと云える。ちなみに自分はカリタのドリップで淹れている。昼餉のコーヒーマロンは、専らインスタントコーヒーマロン（UC117）を飲む。今の時期、香りの王様と云われるスパイス、カルダモン、コーヒーマロンを飲んでみる。パウダー状のカルダモンを少し入れる事で、味がスパイシーになり、正に初秋のコーヒーマロン感じがする。また珈琲に塩麹を入れると、苦味が抑えられてマイルドな味になる。だが、これは

自分の味覚ではない様だ。さて、まくらが長くなつたが、講義の内容は、石脇氏の「ドリップを科学する」・「コーヒーマロンの抽出はどの様に進むか、ドリップの困ったところ」と良いところ、ドリップで美味しいコーヒーマロンを、と細かく分けて、成分、温度、時間がどの様に抽出に影響をもたらすのかを詳しく聴いた。いつも淹れているレギュラー・コーヒーマロンの抽出時を思い浮かべながら講師の話に聴き入ると、より解り易く、違いが殆んどない事が嬉しい。二人目は小林氏に

よる「ドリップスタイル」・「各ドリップの種類の話から、海外ではどんな淹れ方をしているのか、動画を流しての解説を聴いた。裡でもインテリジェンシア・コーヒーマロンのドリップ・コーヒーマロンの淹れ方は衝撃的で狂喜乱舞してしまふ程斬新な方法であった。もう程斬新な方法であった。（物は試し、一度チャレンジしてみたい）そして最後は「コーヒーマロン」ではお馴染み、コーヒーマロン・川島氏の「生産国の最新情報」・今年訪ねたハワイ島コナ。

コーヒーマロンの状況とアフリカ・ルワンダのコーヒーマロン事情に付いての話を、スライドを通して聴いた。中でもルワンダは一千万人の人口の裡、四パーセントがコーヒーマロン産業に従事して生計を立てているが、コーヒーマロンを飲む習慣が無いと云う。では普段何を飲んでいるのかと云うと「紅茶」が主流なのだそう。これも驚きだった。こうして今年も四時間半に渡る「コーヒーマロン」の講演は終了した。次回には、講義内容をもっと詳しく書こうと思つていきます。

和のこころ

日本の文化を

大切に

リンリン

こならには

カプトムシ寄る

夏のゆう

からっぽの

頭にしみる

蝉しぐれ

Y・S

しろくまの

味に魅せられ

風地蔵

草野 重子

さらさらと

流れる風の

涼しさや

桜崎 炎香

新緑の

芽ぶき生まれる

庭の隅

風音

風地蔵新聞

家族が増えました

大橋 美紀

我が家の次男は私の犬好きです。

今年3月に高校を卒業し、寮を出て家に戻り、4月より社会人となったのは、前に書かせて頂きました。次男は小さい頃から犬が飼いたい、飼いたいと、ごまかしてもまた言いたし、それが中学生になつても言い続け、とうとう、犬じゃなくて魚で納得させたんです。野球（クラブチーム）なので、土日遠征になると朝も早く帰るので可哀相でしようと言いつつ聞かせたのでした。しかし、我が

家に戻ってきた今、自分でペットショップへ行き、また、犬・猫と言いだしたのでした。「俺が買うからいいやろ」と言われ、「うー」と思ひ、この何十年と言いつつ19才になつた今でも、と思ひ、主人と私と次男と3人でペットショップへ行きました。見ると可愛くて主人も犬の犬好き、私もずっと子どもの頃から家には犬がいた環境で育つていました。トイプードルが兄弟でゲージに入っている姿を見て、主人も次男も2匹と言いだし、私はえーでいいです。結果2匹が我が家の家族となりまして。さあ、大変です。ゲージにトイレにえ

さ入れ、水入れといふ物がいっぱいあります。息子用意万全、全部会社の方から頂いて来たのです。餌は1週間分ショップの方から頂き、とりあえずなにも買う事がなした。ペットショップから我が家に着き、気にいってくれるかなと心配していましたが、大喜びで走り回ってくれました。しかし問題は夜です。2晩、寂しがるので泣くかもしれないとショップの方に言われてましたので、1日目はゲージの置いてあるリビングに息子と応援に来てくれた友だちが布団をひいて、一緒に寝てくれたのはいいのです

第108号
発行 編集
風地蔵
白石 美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町85

ヤフーブログ
毎日更新中
炎の女みほ日記
<http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230>

が、朝4時30分頃「キャンキャン」とすごい勢いで2匹が泣くので、2階からリビングに行くとうんちまみれで飛び跳ね泣いているじゃないですか。そして息子達は布団をかぶって寝ているし、私はきれいに掃除をして、犬もキレイに拭いて息子達に話を聞くと、昨夜は大変だったらしいです。吐き戻したりうんちにおしっこ。不安になつて友達に電話したりしてたそうです。2晩目は主人と私と1匹づつ抱っこして寝ました。少し夜も慣れて3日目からゲージの中でおりこうさ

んに寝てくれるようになりまし。今はうんちおしっこつけに奮闘中です。また子育ての始まりという感じですが、益々家族の会話も増えて、すごく大変です。まだ生後2カ月なので、2回目のワクチンがまだです。ワクチンが済めば、散歩にも行けるようになります。主人はその日をとても楽しみにしているみたいです。3人でそれぞれ役目を決め、大切に育てていきます。大切な家族ですからね。後になりまして、孫もこの月に生まれました。男の子です。

まだ病院でしか会つて抱っこをしていません。今はお嫁さんの実家ですので、これからおばあちゃんになった実感もわいてくるんでしょうね。まだピンとこないです。とてもあわただしく結婚出産だったので、息子夫婦で大切に育ててくれる事を願っています。とても賑やかになりま



俳句大国がゆく

原 由里子

6月23日。大垣市スイトピ...

「俳句大国がゆく」という番組は、元々愛媛県松山市のNHKで放送されて...

のが30分後。指定席ではなく早い順に良い席に座れるので、午後11時頃に家を出ました。

て回って、昼飯を取って12時に戻ったら結構な人がすでに並んでいました。

入場の時間になり、入り口で俳句の用紙を渡し、交換にいろんなチラシが入ったクリアファイ...

たが、案の定、選ばれませんでした。選ばれた俳句は、「絶対、私は選ばれないな」と思うくらい、素晴らしい俳句ばかりでした。

この後、お笑い芸人の博多華丸・大吉さんの漫才が始まりました。

と一緒の方が多かったようです。収録中カメラとカメラマンで見にくい時もありました。

番組が始まる前に、NHKのスタジオの方が出てきて、注意事項や簡単な説明、拍手の練習、先に頂いたフアイ...

肉部の男子と地元の主婦の方で、1日3句は俳句を書いていくベテラン対決。その場で、お題を与えられ、3分間で俳句を完成させる時間正...

「嘘」と言っていた。出演者や司会者がステージに戻ってきました。次のコーナーは「嘘」というお題で出演者が前もって書いた俳句が並んでいて、誰の作品かは明かさず、どの俳句が好きかを出演者同士が選んでいく。

会場にいたお客さんは他の会場に比べて若い方が多かったです。おわり



川風

しらいしみほ

コスモス揺れる
南阿蘇鉄道
トロッコ列車

豪雨の爪後も、まだ記憶に新しい。今だ阿蘇の山肌、痛々しい。光景は、春の帰省中、青を考へていたのにな。阿蘇に行つた。

福岡は、先週お彼岸の台風の後から、めっきり朝晩は寒いく。が吹いて、秋の風が夏は、でべそ。このあたしが、あまりうるうるした。涼しくないと、軽くたんに、うな気がして、もしかしたら、予約の番号を押した。

雨でキャンセルが相次ぎ、一番いい季節にトロッコ列車は、閑古鳥が鳴いていた。朝9:45の高森発立野行きに乗るために、家を7時に出る。ひさびさの日曜日の早出だ。太宰府からだ、大分道で南小国周りのルートもあるが、阿蘇熊本空港インターで降り、高森駅に向かった。1枚上着を持ってきて正解。予約は往復でとれた。観光バスがないので、九州近隣の各県のナンバースタンプを埋めた。りおんが小さい頃、鎌澤さんと、たくちやんとけんちゃん、とりおんで、トロッコ列車に片道乗って以来。あんときは鎌澤さんに、あたつたんやて。旅行にきて、悪いくつしたな。今日は、旦那ちゃんと二人。まわりも夫婦や家族連れ。車掌さんが、よくしゃべる。サビで、精神旺盛な方で、稲の海金を輝く。よう、ガタンゴトトロッコ列車がゆっくりに進む。前はなかつたんだけど、説明しながら、



中国と韓国と日本
領土問題で色々ゴチャゴチャしている。昔、アパレル業で中国に行ったりしていたし、上海国際マラソンにも出たことがあり、非常に注目して動向を見守っている。
学生の頃(20年前)社会主義経済のゼミに参加していた。当時はリスクがあるが、出ていくしかないという感じだった。その時、留学生の中国と韓国の学生と結構激論を交わした(酒を飲みながら)日本人を代表!して議論し、納得してもらった。

「文化」とか「歴史」とか「国民性」の違いと言ってしまったら、それまで。自分の中での結論、キーワードは「美学」だと思っている。日本人の持っている、日本人だけの「美学」
中国と韓国と圧倒的に違うのは「美学」世界に誇れるものである。日本は美学を持ってアジアを引っ張っていきべきだと、自分は考えている。
自分は毎日日本人の美学を持って、仕事し、生活をして、生きている。

庭師 奥田良樹

名所名所の、湧き水の上や、高い鉄橋の上で、停車させてくれる。サイビスがある。景色が飛ばずにピタッとゆっくりに見えるのだから、一番高い鉄橋の上では、あの旦那ちゃんですえ、身を乗り出して下を覗き込む。左の方が見え、床板が張つてませんから怖いですよ。あ、そんなにいつべんに左によつちやあ、列車が傾いていきますよ。「ほらほら、大人はいいけど、お子さんはしつかりつかまえて空には2、5秒くらいしかね。と、ユーモアを交えた車掌さんは、みんなの気分を良くする役者さんだつた。

「長陽」の駅に停まった時。突然紫の忍者があらわれた! プラットホームから、トロッコ列車に向いて、お菓子や飴を車内に投げ入れてくれる。5、6人は、しっかり握れるように。馬も居る! もちろん人が馬の頭をかぶつてるんだけど、盛り上がる盛り上がる。そして、ほくほくとした気分が、車したところ、線路の横のあぜ道を、顔だけくモンの顔だけくモンモドキ(ゆりキヤラグランプリ)の全身タイツクンが全力で走つてくるので、はないか! その姿がおかしくて、写メ撮る人、カメラ向ける人、カメラを振る人、ぬすばりしがる人、のぬすばりしがる人があつたり、涙、



復興、復旧、痛々しい姿はまだそのままの個所もあるが、人の気持ちは高まって、まあいい輪をつくる。サークルオブラブ。今年の秋は、自然と戯れよう。稲穂やヒガンバナ、コスモス、そして、人の手。手間はかけて実るものは、すべ

てすばらしい。一瞬で壊れるような、自然災害には、人間は立ち向かえない小さなものだが、自ら壊しに行く、近隣の国とのいざこざの映像は怖い。積み重ねた物を壊してなるものか。